

報 告 書

開催日時	平成30年5月19日 14時 ～ 15時51分
開催場所	あつぎ市民交流プラザ（アミューあつぎ） ルーム610
担当議員	井上敏夫、高橋豊、名切文梨、井上武、 難波達哉、寺岡まゆみ、新井啓司
参加人数	観光関係の方 19人
報告事項	・都市経済常任委員会関連の平成30年度予算報告 ・厚木市の観光について
意見交換 （テーマ）	今回の議会報告会はワークショップ形式にて実施 【メインテーマ】 ・「厚木市の観光に期待すること」と題して実施。 【ワークショップ形式によるテーマ】 ・「あつぎの観光の魅力・資源は」 ・「あつぎの観光の課題は」 ・「外国人のお迎えは」 ・「あつぎの観光の活性化に必要なことは」
参加者 からの 質問・ 意見等	別紙のとおり
意見書等 の検討が 必要な 意見等	特になし

平成30年6月15日

平成30年度 第12回議会報告会
都市経済常任委員長 井上 敏夫

議会報告会報告書（別紙）

1 参加者からの意見等（ワークショップ形式によるテーマ別）

（１）あつぎの観光の魅力・資源は

- ・大山を核とした広域観光の拠点（大山・丹沢・宮ヶ瀬）
- ・山、森林、河川、ダム、温泉などの豊富な自然
- ・都心等への良好なアクセス（小田急、圏央道・東名道（小田原厚木道））
- ・B-1 グランプリで優勝した厚木シロコロ・ホルモンは、全国的に知名度が抜群
- ・あつぎ鮎まつり花火大会は、小田急線沿線の花火大会の中でも、かなりの集客力
- ・市内に温泉が２カ所（飯山温泉、七沢温泉）ある。
- ・荻野運動公園など大きな大会が出来る運動公園がしっかりある。
- ・名門も含め多数のゴルフ場がある。
- ・飯山・七沢等の温泉。相模川、丹沢の山々と言った自然豊かな所
- ・イベントが多いところも魅力であり資源
- ・魅力として、外国人への対応をどうするか。資源としては、自然が多い。
- ・イベントが沢山ある。温泉が多い。
- ・相模川等の川、七沢・森の里・飯山などの山、県央地区の拠点としての歴史
- ・飯山・七沢温泉、大山参りが資源
- ・母なる相模川、東丹沢山麓のハイキング
- ・都心からのアクセスの良さが魅力である。グルメをアピール「ホルモン・ラーメン」
- ・自然の豊かさが魅力である。温泉地であり、強アルカリ成分が多い。
- ・「ぼうさいの丘公園」による防災面が強い。
- ・都心からの観光だと日帰りになってしまうケースがある。
- ・ゴルフについては、名門コースがあることも魅力である。

（２）厚木の観光の課題は

- ・厚木でしか「見られない」「体験できない」のコンテンツが少ない。
- ・ガイド人材の高齢化による後継者問題
- ・オールあつぎでの受け入れ体制（おもてなし）、市民の「誇り」、市民の「関心度・認知度」
- ・団体見学ができて、集客できる市内観光地がない。
- ・温泉地の認知度が弱い（神奈川県だと、温泉といえば箱根となってしまう）
- ・名物料理が食べられる大型施設の充実（シロコロ・豚漬け・鮎料理等）

- ・ランドマーク足り得るものが欲しい。
- ・トイレが汚い。
- ・マナーが悪い。
- ・イベントが多すぎる
- ・市全体の魅力をアップする各施設及び企画を年間通じたネットワーク化の積極的な売込みが欠けている。
- ・企画型商品の開発
- ・看板よりスマホなどによる発信が重要
- ・インターネット情報の充実、駐車場情報の充実

(3) 外国人のお迎えは

- ・小田急沿線「箱根」「大山」、東名道「富士山」「御殿場」からの誘客（途中下車、立ち寄り）
- ・ホストタウン「ニュージーランド」との相互交流
- ・2020年の東京オリンピックまでは、市内のビジネスホテル・旅館等は十分にお迎えができると思う。
- ・都内は宿泊料金が高いので、その宿泊料金に入らない外国のお客様が確保できる。
- ・色々な言語の説明書の作成、各国のマナー等をしっかり学び、市役所にて色々な言語に対応できる部署の作成
- ・東京オリンピック以降の集客を狙う場合は、旅館等は日本伝統文化体験（オプション対応）を取り入れていく。
- ・外国のお客様が訪問したくなる施設の再整備（神社・仏閣）等
- ・英語のインフォメーション不足、英語版パンフレットの充実
- ・アジア（中国・台湾・韓国）等の方々への配慮不足
- ・バス駐車場の充実
- ・企業バス駐車場の確保
- ・市内観光ルートの開発には、大企業にも参加していただく。
- ・横浜港からの観光客誘致
- ・伊勢原市が作成した英語版パンフレット参考を参考にして作成
- ・宿泊施設の充実
- ・カード決済の取り組み強化
- ・「民泊新法」旅館業法の一部改正を確認と農泊の検討
- ・分かりやすい資料を提供
- ・厚木市ホームページの多言語化
- ・神社仏閣の整理をして外国人へ PR

(4) あつぎの観光の活性化に必要なことは

- ・あつぎ独自のコンテンツの充実
- ・若年層（特に大学生）との連携
- ・市主導から市民主導へ、市民の「誇り」「関心度・認知度 UP」
- ・丹沢・大山、相模川、中津川流域、宮ヶ瀬ダムを擁するエリアとの広域連携
- ・旅行会社と提携して、温泉宿泊パック・ゴルフパックの充実（ロマンスカーセットプラン等）
- ・旅館でも厚木シロコロ・ホルモンを食べられるように、一品追加料理等に入れるようにする。
- ・厚木シロコロ・ホルモン、豚漬けを団体で食べられる施設の充実（旅行会社と提携）。厚木インターまたは圏央厚木インター近くに開店（大型観光バス駐車可能）
- ・アミューあつぎの有効活用の再検討（有料施設を入れる等）。団体観光客が入る施設へ（大型観光バス送迎発着場を作ったので、有効活用）
- ・市内に集客ができる有料観光地（美術館、遊園地等）
- ・市内球場（玉川・及川）を整備して、プロ野球観戦
- ・友好都市及び防災姉妹都市を一同に集めてグルメまつりの開催
（ニューブリテン市・揚州市・横手市・狭山市・網走市・軍浦市・糸満市）
- ・女性トイレの充実とトイレ不足の解消
（広沢寺温泉のトイレ）
- ・冬季のイベントを検討
- ・サイクリングのルートを早期作成する（近年人気がある）。
- ・広域連携の更なる充実
（伊勢原市・秦野市・清川村・愛川町）
- ・オリンピックと鮎まつりのコラボ
- ・相模川河川の環境整備、桜の増殖
（野山の荒れ地の整備）
- ・中央公園の利用状況から見る施設の充実と改修
- ・プロ野球、Jリーグ等を呼びたいがスポーツ施設がない。
- ・パンフレットの置場の検討
- ・体験事業の充実
- ・厚木市出身の活躍した著名人に対するフォローとサポートがない。
（厚木市観光大使として著名人になってもらう）
- ・鮎まつり時期に相模川整備に毎年数千万円お金かけている⇒検討要す